

令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：062.東アジア歴史・思想論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

設問 ⅠからⅤのうちから一つを選択して解答しなさい。

なお、Ⅰは日本史、Ⅱは中国史（近世）、Ⅲは中国史（近代）、Ⅳは中国思想史、Ⅴは東アジアの思想文化に関する問題である。

日本史

Ⅰ 以下の問1から問5の全てに解答せよ。解答用紙は、問いごとに分けて使用すること。

問1 律令国家の地方行政組織である郡と里が、どのようにして成立したかを説明しなさい。

問2 鎌倉時代から室町時代初期の幕府財政や社会経済の状況について、新たな動向に触れながら説明しなさい。

問3 次の史料について、読み下しを作成しなさい。また、傍線部が述べている事柄について、「前後之格」とは何かに留意しながら説明しなさい。読み下しを作成する際には、頭注や傍注を反映させなくてもよい。また、旧字・異体字は、できる限り常用漢字に改めて記すこと。

問4

次の史料『勘仲記』文永十一年（一二七四）一〇月二十九日条、同年十一月二十六日条）について、読み下しと現代語訳を作成するとともに、この史料から読み取りうることを、可能な範囲で記しなさい。読み下しを作成する際、日付の行については、日付と干支以外の部分を省略してもよい。また、旧字は、できる限り常用漢字に改めて記すこと。

『新訂増補国史大系（普及版） 類聚三代格 後篇』（吉川弘文館、一九七二年）より引用。

『史料纂集 勘仲記 第二』（八木書店、二〇〇八年）より引用。

(Ⅰの問題は次につづく)

令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：062.東アジア歴史・思想論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

問5
次の史料の釈文を作成しなさい。

『国宝 高野山文書『宝簡集』』（小林写真工業、二〇〇四年）より引用。

令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：062.東アジア歴史・思想論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

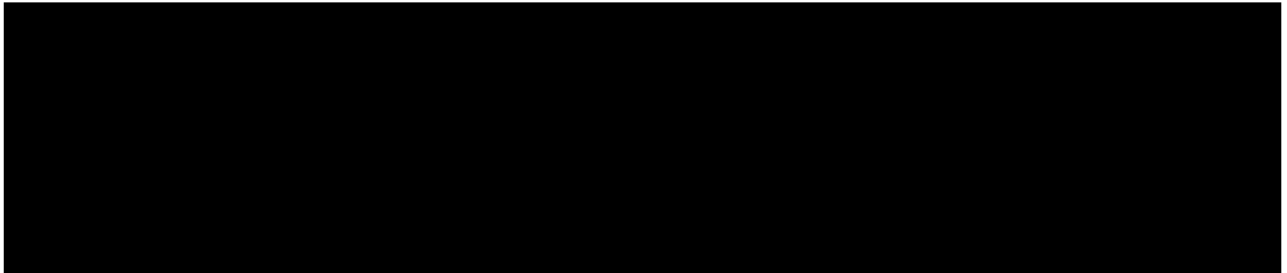
中国史（近世）

Ⅱ 以下の問1～問4に全て日本語で解答せよ。

問1 次の語句の中から、4つを選んで説明しなさい。

- | | | | | |
|--------|--------|----------|---------|---------------|
| (1) 倭寇 | (2) 牙行 | (3) 郷約 | (4) 劉銘伝 | (5) 『読例存疑』 |
| (6) 市鎮 | (7) 中人 | (8) 宣撫工作 | (9) 毛沢東 | (10) エドガー・スノウ |

問2 全文を日本語に翻訳しなさい。



（趙翼『廿二史劄記』巻36、「明祖之取江州」）

問3 明清時代～近現代中国研究の任意のテーマについて、1冊の重要な先行研究（書籍）を取り上げ、その論点と内容を整理し、さらに自らの視点から意見を述べよ。

問4 中国の華南農村における村落と宗族、そして民間信仰との関係について、福建省を事例として説明せよ。

令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：062.東アジア歴史・思想論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

中国史（近代）

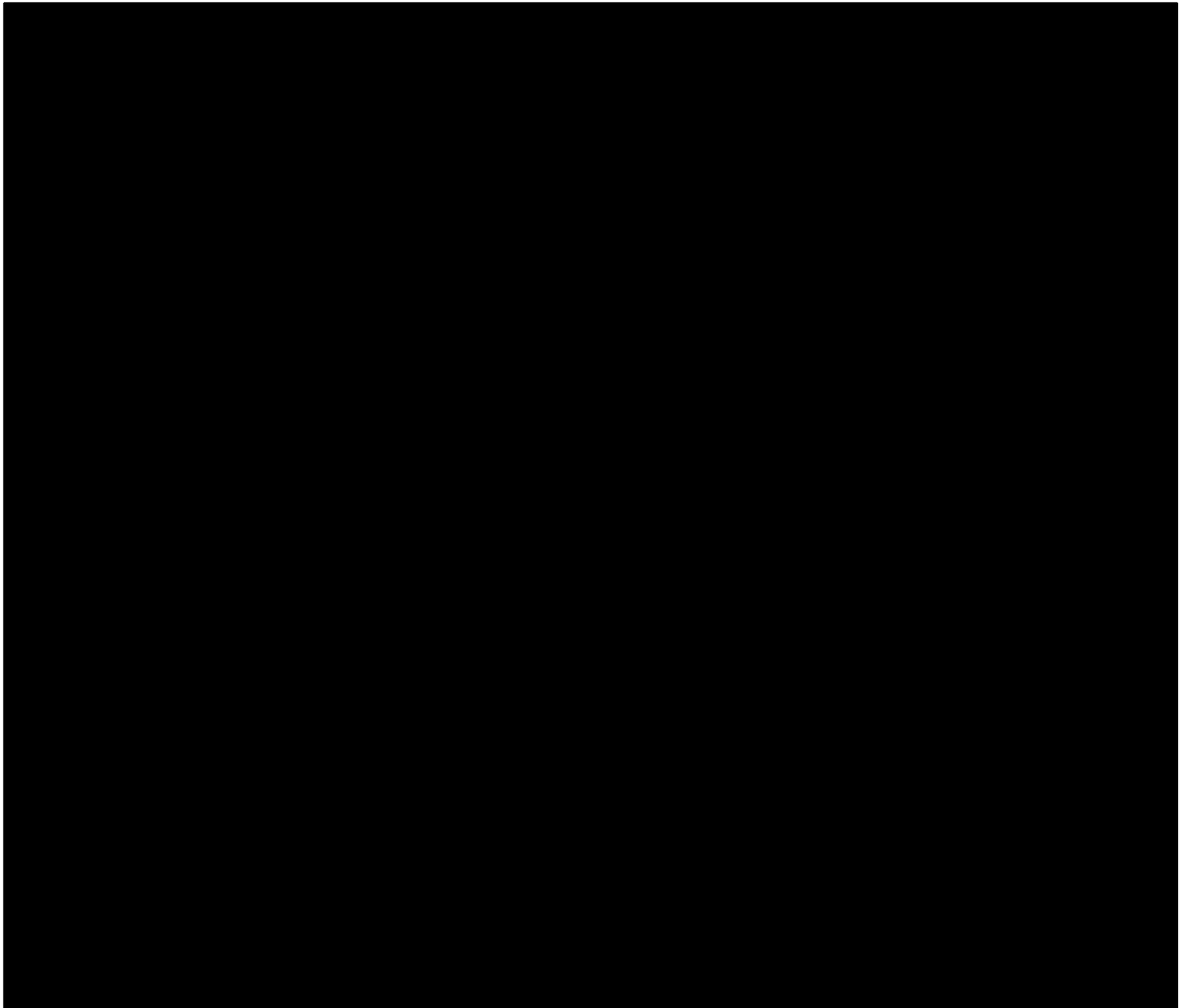
Ⅲ 以下の問1～問4に全て日本語で解答せよ。

問1 次の語句のうちどれか一つを選んで説明しなさい。

「鞏金甌」 新生活運動 『蔣中正日記』 『中国農村慣行調査』

問2 歴史学の研究においては、一次史料が非常に重要である。①一次史料とは何か。②一次史料がなぜ重要なのか。具体的な例を挙げて説明しなさい。

問3 下の史料は、1928年に発足した「乙巳倶楽部」という革命記念を目的とする団体が、同年5月14日に発した書簡である。全文を日本語に訳しなさい。



令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：062.東アジア歴史・思想論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

問4 近代中国の知識人の間では、ナショナリズム（民族主義）やパトリオティズム（愛国主義）と、コスモポリタニズム（世界主義）やインターナショナリズム（国際主義）は対立するか両立するか、両立しないとすればどちらの立場に立つかをめぐり、さまざまな議論が展開された。具体的な事例を挙げ、思想史的背景とともに説明しなさい。

その際、関連する先行研究を必ず一つ以上挙げて論拠とすること。ただし先行研究の書誌情報は完全なものでなくてよい。

令和 9 年度 第 1 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：062.東アジア歴史・思想論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

中国思想史

Ⅳ 以下の問 1 と問 2 に全て日本語で答えよ。

問 1 以下の項目から 3 つ選び、1 項目につき 200 字程度で解説せよ。

1. 郭店楚簡
2. 元亨利貞
3. 杜預
4. 新法党
5. 三教一致論
6. 新儒家

令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：062.東アジア歴史・思想論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

問2—1 次の文章は、元代の呉澄「仙城本心樓記」の一節である。全文を現代日本語に翻訳せよ。

問2—2 この文章の内容について、その思想史的位置を400字程度で分析せよ。その際、当時の中国思想史の状況や、筆者が陸九淵の「本心の学」をどのように評価し、同時にどのような理解を退けているか、に触れること。

孟子傳孔子之道而患學者之失其本心也於是始明指本心以教人
其言曰仁人心也放其心而不知求哀哉又曰學問之道無他求其放
心而已矣又曰耳目之官不思而蔽於物心之官則思先立乎其大者
而其小者不能奪也嗚呼至矣此陸子之學所從出也夫孟子言心而
謂之本心者以心為萬理之所根猶草木之有本而苗莖枝葉皆由是
以生也今人談陸之學往往曰以本心為學而問其所以則莫能知陸
子之所以為學者何如是本心二字徒習聞其名而未究竟其實也夫
陸子之學非可以言傳也況可以名求之哉然此心也人人所同有反
求諸身即此而是以心而學非特陸子為然堯舜禹湯文武孔顏曾
思孟以逮邵周張程諸子蓋莫不然故獨指陸子之學為本心之學者
非知聖人之道者也聖人之道應接酬酢千變萬化無一而非本心之
發見於此而見天理之當然是之謂不失其本心非專離去事物寂然
不動以固守其心而已也

令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：062.東アジア歴史・思想論

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

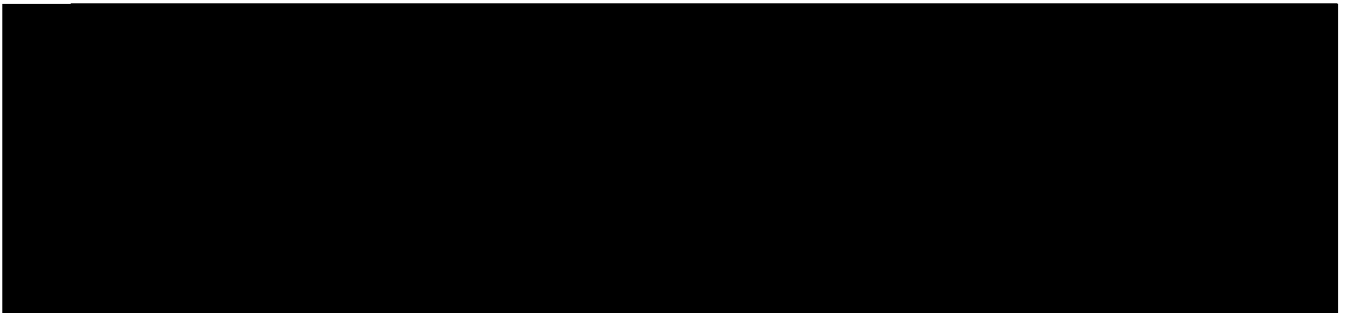
東アジアの思想文化

V 以下の問1と問2にすべて日本語で答えよ。

問1 以下の項目から2つ選び、自らの考えを記述せよ。

- (1) 東アジア哲学
- (2) 韓国哲学
- (3) 東亜協同体論
- (4) 三木清
- (5) 朴鍾鴻

問2 以下の文を読んで、自らの観点から解説せよ。



(『精神現象学 上』G・W・F・ヘーゲル、熊野純彦訳、ちくま学芸文庫、2018年)